

第 1 回 釧路市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時 : 平成 23 年 6 月 13 日 (月) 13 : 30 ~
場 所 : 道東経済センター 5 階 大会議室
出席者 : 構成員 (19 名) タウンマネージャー等 (2 名) オブザーバー・事務局等 (23 人)
計 44 名出席

1 . 開会

事務局より、開会を宣す。

2 . 会長挨拶

会長が公務により欠席したため、副会長が代わり、釧路市中心市街地活性化協議会開催にあたり挨拶。

中心市街地活性化基本計画策定に向けての素案の基本的事項については理解をいただき進めているが、商業を含めた核となる具体的な事業化への体制づくりに時間を要している。昨年度は北大通地区を想定したハード事業の検討案により、都市改正の実現と中心市街地活性化の推進にむけて地権者の意向調査を実施し、さらに一步進めた地権者の研究会組織を立ち上げた。今年度はさらなる具体的検討を含めた体制づくりを進めなければならない。本日は、昨年度事業報告並びに決算報告についての審議および 23 年度の事業推進スケジュールについて検討をお願いする旨説明し挨拶とした。

規約 11 条 2 項により会長代理が議長となり、議案の審議に入る旨告げる。

副会長が議長となり、議事を進行する。

3 . 議事

(1) 委員・オブザーバーの変更について
事務局より、変更された方が紹介された。

議長

本件について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

(2) 平成 22 年度事業報告並びに収支決算報告について (別紙資料 2)

事務局より資料を基に報告され、タウンマネージャーより活動報告について補足説明がされた。

引き続き、監事より監査報告がされた。

議長

本件について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

(3) 中心市街地活性化事業推進スケジュール等について (別紙資料 3)

今後の中心市街地活性化事業推進スケジュール、また再開発事業研究会が行った先進地視察見学会についてタウンマネージャーより報告がされた。

タウンマネージャー

【中心市街地活性化事業推進スケジュール】

前回までは会合・勉強会を 1 ヶ月おきと想定していたが、中小企業基盤整備機構と専門家派遣事業について検討した結果、6 月から 12 月まで毎月専門家に講演をしていただき、再開発

事業計画における数値調整、内容が適切であるかどうかを検証していきたい。また6月から9月までに地権者の再調査を併せて行う。前回賛同を得られた方も含め、再度細かい内容まで地権者と協議し、ある程度の内容まで合意に達していきたい。9月には再開発事業研究会を発起人会としてレベルアップさせ、さらに3月には準備組合を発足させることを目指していく。(株)まちづくり釧路としては商店街の個店レベルアップ、活性化への対応、事業案件推進及び新たな事業の発掘を進めていくこととしている。

【先進地視察見学会報告】

(フラノ・マルシェ)

中心市街地へ観光客を入れ込めるよう開設。ふらのまちづくり(株)が事業主体となって2010年4月に開設され、経済産業省戦略的中心市街地商業等活性化支援を活用して進めてきた。

敷地内に8店舗ある売場で扱われる商品はほぼ富良野産であるという特徴がある。次の事業として、向かいの土地に再開発ビルを計画している。

(マルヤマクラス)

2009年3月開店。旧郵政公社所有地に三菱地所が立ち上げ、丸紅と共同で事業を行っている。周辺には所得層の高い住民が暮らしており、それに見合った値段と商品で予定以上の売上を確保したと言われている。

駐車台数が190台と少なめだが、地下鉄駅と直結していることで補っている。

(イーアス札幌)

大和ハウス工業(株)が事業主体となって開設。競合店が多い中で、売上がダウンしている。昨年のリニューアルによって回復しつつある。

以上より、富良野の場合は地元主導で行うことでの成果、また札幌のマルヤマクラス、イーアス札幌については、先行している部分と苦戦している部分を比較して見学することができた。

議長

本報告について議場に諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

4. 閉会

議長より閉会を宣する。

以上